

公安委員会の活動状況（令和7年9月）

平川公安委員の再任に伴う辞令交付式について（9月8日）

○ 年月日

令和7年9月8日（月）

○ 内容

大分県庁舎において佐藤大分県知事から平川公安委員に対し、公安委員再任の辞令が交付された。

任期は、令和7年9月8日から令和10年9月7日までの3年間。



県警音楽隊の視察について（9月9日）

○ 年月日

令和7年9月9日（火）

○ 内容

公安委員3名は、県警本部別館の音楽隊訓練場において県警音楽隊の訓練を視察した。

楽長から隊員数や年間の演奏回数等の活動状況について説明を受けた後、夏の童謡メドレーなどの演奏を鑑賞した。

公安委員3名は、「今後も県民と県警察をつなぐ『音の架け橋』として演奏活動を行ってほしい」との旨の講評を行った。



竹田警察署協議会への出席について（9月12日）

○ 年月日

令和7年9月12日（金）

○ 内容

平川公安委員は、竹田警察署において開催された竹田警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「総合的な高齢者対策」について協議がなされた。

平川公安委員は、「協議会委員の意見が警察署の活動によく反映されている。協議会委員は、今後も活発に意見を出していただき、警察署はその意見を業務運営に活かしていただきたい」旨の講評を行った。



佐伯警察署協議会への出席について（9月12日）

○ 年月日

令和7年9月12日（金）

○ 内容

久家公安委員長は、佐伯警察署において開催された佐伯警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「自転車総合対策」について協議がなされた。

久家公安委員長は、「刑法犯認知件数の多くを占める自転車の盗難を抑止するためにも、協議会委員には市民目線での意見を出してもらい、警察署はその意見を業務に反映していただきたい」旨の講評を行った。



警察学校初任科生に対する訓育の実施について（9月16日）

○ 年月日

令和7年9月16日（火）

○ 内容

久家公安委員長は、大分県警察学校において初任科生に対し、公安委員会の概要を説明するとともに、「酒の功罪」と題し、今後の警察人生が心身とも健全で充実したものとなるように、酒とのスマートな付き合い方について久家公安委員長自身の経験等を踏まえ、訓育を行った。



中津警察署協議会への出席について（9月18日）

○ 年月日

令和7年9月18日（木）

○ 内容

渡邊公安委員は、中津警察署において開催された中津警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「詐欺被害防止対策及び自転車の安全利用の促進」について協議がなされた。

渡邊公安委員は、「協議会委員から活発に意見が出ていた。警察、行政、市民が協働して安心・安全なまちづくりに取り組んでいくことが重要である」旨の講評を行った。



玖珠警察署協議会への出席について（9月19日）

○ 年月日

令和7年9月19日（金）

○ 内容

平川公安委員は、玖珠警察署において開催された玖珠警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「総合的な交通事故防止対策」について協議がなされた。

平川公安委員は、「協議会委員は、事件や事故の被害防止のため、警察の持つ情報を町民の方に広げる手伝いをさせていただくとともに、地域の抱える課題に対して、警察署と協力して解決に向け取り組んでいただきたい」旨の講評を行った。



豊後高田警察署協議会への出席について（9月25日）

○ 年月日

令和7年9月25日（木）

○ 内容

渡邊公安委員は、豊後高田警察署において開催された豊後高田警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「特殊詐欺防止対策」について協議がなされた。

渡邊公安委員は、「意見が活発に出ていて、地元を良くしようと思う協議会委員が多いと感じた。自治体・警察署・協議会が連携して活動していくことが重要であるので、今後の協議会でも活発に意見を出していただきたい」旨の講評を行った。



警察学校初任科生の卒業式への出席について（9月29日）

○ 年月日

令和7年9月29日（月）

○ 内容

久家公安委員長は、大分県警察学校で行われた初任科短期課程第79期生の卒業式に出席した。

久家公安委員長は、卒業生20名に対し「誇りと使命感に溢れた、県民の期待と信頼に応える警察官になってほしい。将来の大分県警察を担う立派な警察官に成長することを大いに期待しています」と挨拶を行った。



大分東警察署協議会への出席について（9月30日）

○ 年月日

令和7年9月30日（火）

○ 内容

平川公安委員は、大分東警察署において開催された大分東警察署協議会に出席した。

警察署協議会では、「身近な犯罪の抑止対策」について協議がなされた。

平川公安委員は、「警察だけでは地域の安全を守っていくのに限界があるので、各コミュニティや家庭等が協力していくことが必要である。そのためにも、警察が発信する情報をいかに住民に周知しキャッチしていただくかを工夫することが重要」旨の講評を行った。

